

会議名称	平成30年度第3回平塚市スポーツ推進審議会
日時	平成31年(2019年)1月30日(水) 9時30分から11時10分まで
会場	平塚市教育会館2階中会議室
委員数	14名
出席者 委員	13名 陶山正明、田中國義、杉山鎮夫、首藤幸子、鈴木登喜雄、高橋篤、守泉光江、落合浩一、畔柳豪、加川淳、鈴木喜明、平松廣幸、熊沢裕子
出席者 事務局	5名 高橋社会教育部長、石塚スポーツ課長、市川課長代理、五島課長代理、植手主査

1 議題

(1) 平塚市スポーツ推進計画について

ア 平塚市スポーツ推進計画の中間見直しについて

【事務局】

前回のスポーツ推進審議会の委員からの御意見としては、中学校部活動や地域スポーツが衰退傾向にある中で、総合型地域スポーツクラブが果たす役割は大きい、あるいは地域クラブのような、地域の核となる組織が今後必要である、などの御意見があったので、見直し計画案の中に以前より詳細に記載した。

計画指標に関しては、原則残した方が良いとの御意見があったので、廃止となった事業以外は残し、実績値を加えて記載した。

一部、統計データの数値や事業の名称に誤りがあったので修正をした。

そして、前回のスポーツ推進審議会の際に介護予防の運動の充実ということで、以前は高齢福祉課で実施していた筋肉はつらつ教室等の運動教室が位置付けされていて、事業が廃止になり、中間見直しでは、新規に検討するウォーキングイベントを位置付けたいと御説明した。しかし、改めて、検討した結果、地域包括ケア推進課で実施している、「フレイルチェック事業」を位置付けたいと考える。現在の身体状態を把握する「フレイルチェック」を実施することは、健康長寿の実現や介護予防になり、「運動」に繋げていくための前段階の事業になる。具体的施策の名称は「介護予防のための運動へのきっかけづくり」とした。

【会長】

前回のスポーツ推進審議会に提示させていただいた計画の見直し案から、委員の方の御意見を基に、また、事業の実施主体を確認をしていただき、修正案を作成した。

委員の方の御意見はいかがか。

【委員】

市民への周知が重要であるが、周知方法についてはいかがか。

【事務局】

市内の公共施設、関係団体等に配布し、広報ひらつかやホームページなどで中間年による見直し後のスポーツ推進計画の策定報告をする。

【会長】

原版はボリュームも多いので、概要版の配布などを御検討いただきたい。

【事務局】

検討する。

【委員】

改めて、個別事業に位置付けた「フレイル」について、表現がマイナスイメージに感じられるような可能性もあるのではないか。

【事務局】

実施主体に確認する。

【委員】

フレイルチェックという言葉は、あまり周知されていないが、検査自体は既に周知されており、マイナスイメージに捉えられることは少ないと考える。

【委員】

ウォーキングイベントが他にあるのであれば、新規に検討するウォーキングイベントは、休憩等も考慮した、誰でも参加しやすいイベントを検討いただきたい。

【事務局】

今回、検討するウォーキングイベントは歩くことを主な目的とせず、楽しむことを優先したイベントとして、レクリエーション的な要素を取り入れたいと考えているので、御意見と一致すると考える。

(2) 平成30・31年度社会体育事業実施状況等について

ア 平成30年度社会体育事業実施状況について

【事務局】

平成30年度の実施事業については、2月、3月の事業は未実施、その他の予定していた教育委員会主催事業は終了した。3月に第1回ひらつかパラスポーツフェスタを開催予定でいる。

イ 平成31年度予算並びに実施予定事業について

【事務局】

スポーツ課歳入予算について、30年度と比較すると、ほぼ同額である。

収入科目は、使用料及び手数料は30年度とほぼ同額。諸収入は、自動販売機管理料が増額になっている。

歳出予算について、保健体育庶務事業は、スポーツ課庶務事業経費で、各種スポーツ大会やスポーツ団体への補助金、また、ポータルサイト運営事業等についての経費になる。前年比で約45万円の減額で、主にはひらつかスポーツナビのリニューアルの委託料の削減によるもの。

サッカー文化の振興によるまちづくり事業は、湘南ベルマーレスポーツクラブによる巡回事業やサッカー教室。予算は本年と同額。

市民総合体育大会開催事業は、市民総合体育大会開催に伴う経費で、若干の増額。

スポーツ推進審議会運営事業は、委員報酬予算について、本年と同額。

スポーツ推進委員活動事業は、スポーツ推進委員活動に関する経費で、スポーツ指導者講習会経費を他の予算費目に移行したことにより、減額。

各種スポーツ大会開催事業は、各種スポーツ大会開催に関する経費で、選手派遣事業からかながわ駅伝選手派遣委託料の移行による増額。

学校体育施設開放事業は、小学校の体育館及びグラウンドを開放し、スポーツする場を提供するもので、約20万円の増額。印刷製本費増額によるもの。

小学校プール開放事業は、夏季休業中の小学校のプールを開放する事業で、予算は本年と同額。

選手派遣事業は、選手派遣委託料やスポーツ優秀選手表彰品購入経費等だが、各予算に移行したため、減額。

手話ダンスによる健康づくり事業は、ハンドサインというグループによる、公演開催に伴う、経費。本年と同額。

スポーツ施設活用事業は、スポーツ課所管施設の維持、管理に伴う経費で、170万円の増額。指定管理料の増額によるもの。

土沢スポーツ広場活用事業は、土沢のパークゴルフ場等の維持管理についての経費で、約680万円の増額。指定管理料の増額によるもの。

平成31年度の予定実施事業については、廃止等の事業はなく、現在の事業は継続する。ただし、総合公園の総合体育館の第1体育室が8月～12月に改修工事予定しているため、例年、総合公園体育館で実施している大会等を、来年度は一部、馬入アリーナで開催する予定でいる。

【会長】

市民総合体育大会では総合体育館は使用しないのか。

【事務局】

第1体育室で実施していた卓球とバレーボール及び開閉会式を馬入アリーナで実施する。

2 その他

(1) その他

平成31年3月10日(日)に、第1回ひらつかパラスポーツフェスタを馬入アリーナで開催すること、東海大学の箱根駅伝優勝に伴い、パレード等が実施されたこと等、事務局から報告した。

3 答申

(1)「今後、より多くの市民が年齢や身体の状態に応じて、スポーツを楽しみ、いつまでも生き生きとした生活を送ることができるよう、2020年に東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されることに伴い、市民のスポーツに対する関心が高まることを好機と捉え、市民の誰もがスポーツを楽しめるまちづくりの推進に向け、引き続き、必要な施策を行うこと」として、スポーツ推進審議会会長から平塚市教育委員会へ平塚市スポーツ推進計画の中間年による見直しについて答申がされた。

4 閉会